

近江八幡市水害ハザードマップ

問い合わせ先:近江八幡市危機管理課
0748-33-4192

情報の収集

防災情報の入手先

彦根地方気象台
気象情報
大雨・洪水注意報・警報

滋賀県
河川の洪水予報

近江八幡市 避難情報

避難準備・高齢者等避難開始、
避難勧告、避難指示(緊急)

公共機関他が発信する情報
テレビ・ラジオ・ZTV・インターネットなど

「滋賀県防災ポータル」HP
<https://dis-shiga.jp/>
滋賀県の気象・地震・台風・気象情報や避難情報を
お知らせしています。

気象庁 HP
<https://www.jma.go.jp/>
気象警報・注意報、降水・雷・竜巻の発生予報(レーダーナウキャスト)などを
ることができます。

しらしが(しらせる滋賀情報サービス)
<https://www.pref.shiga.lg.jp/japan/kurashi/ict/306374.html>
気象情報(大雨、台風、地震、津波など)や避難勧告などの防災情報をメールで通知します。

国土交通省「川の防災情報」HP
<https://www.river.go.jp/>
局所的な雨量、洪水予報発表地域、河川の状況(河川カメラ)などを
ることができます。

情報収集

市民の皆様

市からの呼びかけ

近江八幡市が発信する情報
消防団・自治会長
ZTV・広報車など

近江八幡 Town-mail
近江八幡市の避難情報のメール配信
近江八幡市では、災害情報、
不審者情報、消費生活情報、
子育て情報、健康情報などを、
申し込んだ人だけに希望する
情報を携帯電話やパソコン
へメールで配信するサービスを実施しています。



緊急連絡先 市外局番抜きの電話番号を併記しています。(市外局番: 0748)

近江八幡警察署	110 32-0110
近江八幡消防署	119 33-5119
近江八幡市立総合医療センター 災害伝言ダイヤル	33-3151 171
NTT	113
関西電力送配電(株)八日市配電営業所	050-7106-6603(IP電話・代表)
滋賀県東近江土木事務所	22-7740
近江八幡市役所	33-3111

防災訓練の必要性

- 家族で防災について考える機会をつくりましょう。
- 地域の研修訓練の場を持ちましょう。

8月最終日曜日を「近江八幡市防災の日」として防災意識の高揚と防災対応力の向上を図っています。
いざ災害が発生しても落ち着いて対応できるように、日頃から家族で防災について話し合ったり、地域の防災に関する研修や訓練に参加するなどして、「自分の命は自分で守る」を基本に、家族一人ひとりの防災力をアップさせていきましょう。

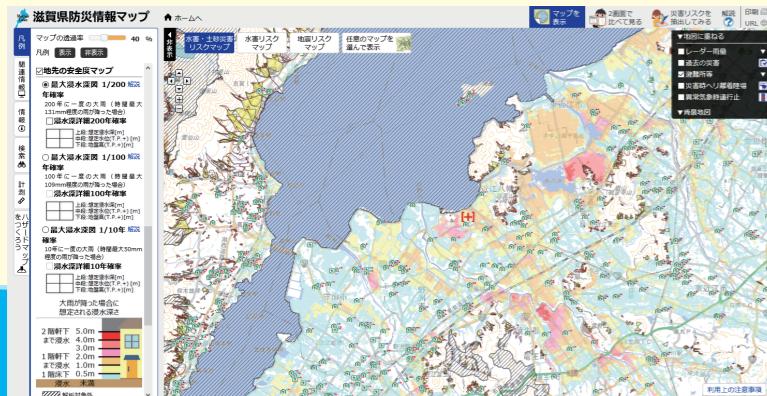
インターネットを活用した防災情報の取得について

滋賀県防災情報マップ

近江八幡市域および滋賀県内全域について、水害及び土砂災害のリスクに関するマップを確認することができます。



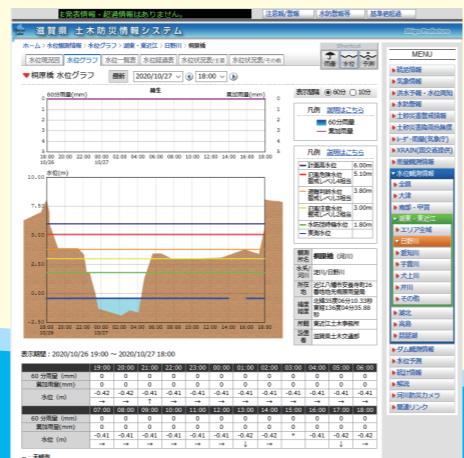
<https://shiga-bousai.jp/dmap/top/index>



滋賀県土木防災情報システム

滋賀県内の雨量や河川水位、気象警報・注意報など防災に役立つ情報をリアルタイムで提供しています。

<https://shiga-bousai.jp/>



●これらのホームページを防災情報源としてご活用ください。

雨の降り方と災害発生状況の変化

1時間雨量とイメージ	人への影響	屋内(木造住宅を想定)	屋外の様子	車に乗っていて
10 ~ 20 mm やや強い雨	ザーザーと降る	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	雨の音で話し声が良く聞き取れない	地面一面に水たまりができる
20 ~ 30 mm 強い雨	どしゃ降り	傘をさしてもぬれる		ワイパーを速くしても見づらい
30 ~ 50 mm 激しい雨	バケツをひっくり返したように降る			道路が川のようになる
50 ~ 80 mm 非常に激しい雨	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)		寝ている人の半数くらいが雨に気がつく	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる(ハイドロブレーニング現象)
80 mm ~ 猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある恐怖を感じる	傘は全く役に立たなくなる		水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる

(出典 気象庁HP「雨と風の表」を加筆修正)

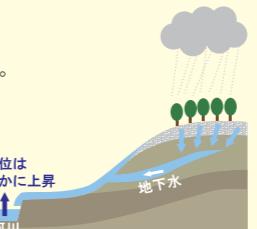
河川災害の主な前兆現象

- 堤防の川側が崩れ始めたとき
- 水が激流となって、堤防の土が削り取られたり、護岸が壊れ始めたとき
- 堤防の側面から水が漏れ出したとき
- 増水が早く、水が堤防を越えそうになると
- 水かさが増し、堤防に亀裂が生じたとき
- 堤防近くの地盤から、水が噴き出すとき



降雨による洪水の発生過程

地表に降った雨は、地中へと浸透します。その後、地中が飽和状態になると、雨は地表面を流れ出します。さらに、雨が降りつづけると洪水や土砂災害の危険性が高まります。



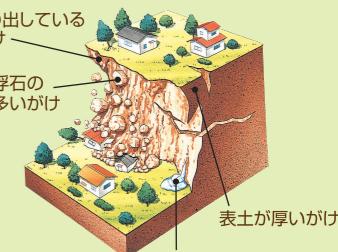
土砂災害の主な前兆現象

- 斜面にひび割れや膨らみなどの変形が見られるとき
- 斜面から水が湧き出てくるとき
- 腐った土のにおいがするとき
- 山鳴りがするとき
- 沢の水が濁ったり、水量が急に減るとき
- 木立が不揃いになったり、井戸の水が濁るとき
- 斜面から石ころが落ちるとき



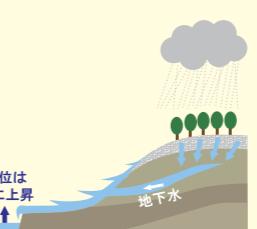
急傾斜地の崩壊【かけ崩れ】

大雨などをきっかけに、地面にしみ込んだ雨水により急な斜面の土砂が崩れ落ちるのを「かけ崩れ」といいます。斜面の崩壊は突然起こりスピードも速いため、人家の近くでかけが崩れると逃げ遅れる人も多く、人的被害の出やすい災害です。



豪雨による洪水の発生過程

豪雨時は、地中へ浸透する雨の量よりも地表面を流れる雨の方が多いため、河川水位も急に上昇する傾向にあり、洪水が発生するまでの時間が短くなります。



過去の災害について

平成 25 年 9 月 台風 18 号

大型の勢力を保った台風 18 号は、滋賀県では記録的な大雨となり、全国初の大暴雨特別警報が発表されました。河川が氾濫して、浸水被害が多数発生しました。



土石流

大雨などをきっかけに、谷底にたまつた土砂や山腹から崩れだした土砂が水と混じり合って一体となり、谷を一気に流れ下るものを「土石流」といいます。一瞬のうちに人家や田畠などを壊滅する恐ろしさから、山津波とも呼ばれている災害です。



地すべり

雨や地下水などをきっかけに、山すそや丘陵地などの斜面などで、地中のすべりやすい地層を境に地面がそっくり動きだすことを「地すべり」といいます。その発生規模は広範囲にわたり、人家や田畠が崩壊してしまうこともあります。



令和 3 年 3 月作成